

InfoSOSA™シリーズ

サンプルプロジェクトの使い方

株式会社シーズウェア http://www.seedsware.co.jp/



本ドキュメントは、InfoSOSA サンプルプロジェクトの使い方を記載しています。

サンプルプロジェクトは InfoSOSA 専用作画ソフト「InfoSOSA ビルダ」で読み込み、動作確認を行うこ とができます。InfoSOSA ビルダは InfoSOSA 開発サンプルキットに付属の CD-ROM に同梱されおりま す。

[サンプルプロジェクトを動作させるまでの流れ]

- InfoSOSA ビルダをインストールする
 →詳しくは <u>1 章 InfoSOSA ビルダのインストール</u>を参照下さい。
- InfoSOSA ビルダを起動する
 →詳しくは <u>2.1 InfoSOSA ビルダの起動</u>を参照下さい。
- 3. サンプルプロジェクトを開く
 →詳しくは 2.2 既存のプロジェクトを開くを参照下さい。
- 4. InfoSOSA 本体へダウンロード、もしくはシミュレータを起動
 →詳しくは3章ダウンロード、もしくは4章シミュレーションを参照下さい。

- ■本書の著作権は、株式会社シーズウェアが所有しています。
- ■本製品および本書内容の一部、または全てを無断で掲載することは禁止されています。
- ■本製品および本書の内容は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。
- ■本書の内容は万全を期しておりますが、万一誤りや記載漏れ等お気付きの点がございましたら当社までご 連絡下さい。
- ■本製品を使用したことによるお客様の損害やその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承下さい。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、 Microsoft®.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- ■その他の会社および製品名は、各社の商標または登録商標です。

関連ドキュメント

本マニュアルに記載されていない内容に関しては、以下の関連ドキュメントを参照してください。

導入ガイド

初めて InfoSOSA に触れる方のためのマニュアルです。 作画から動作確認までの流れについて記載しています。

リファレンスマニュアル

InfoSOSA で使用する部品や機能の詳細、プロパティ、パラメータの詳細などについて記載しています。

InfoSOSA ビルダ操作マニュアル

InfoSOSA ビルダの操作方法について記載しています。

上位通信テスタ取扱説明書

上位通信テスタの操作方法について記載しています。

※ 上位通信テスタは、マイコン機器の代わりに PC で InfoSOSA との通信を確認するためのソフトウェアです。

目 次

はじど	カに		i
関連	ドキュ	レメント	ii
目 次			iii
1章	Info 1.1 1.2	SOSA ビルダのインストール InfoSOSA ビルダ動作環境 1.1.1 動作環境 InfoSOSA ビルダのインストール	4 5 5 6
2章	起動 2.1 2.2	 1.2.1 インストール手順	
3章	ダウ 3.1 3.2	フンロード ダウンロードとは シリアル/LAN ダウンロード 3.2.1 通信設定	
	3.3	 3.2.2 シリアル/LAN でのダウンロード SD カードダウンロード 3.3.1 データ作成 3.3.2 SD メモリカードでのダウンロード 	
4章	シミ 4.1 4.2	ミュレーション シミュレータ 4.1.1 シミュレータ画面 4.1.2 シミュレータの起動 シミュレータの操作方法 4.2.1 表示 4.2.2 タッチパネル操作 4.2.3 ログ表示	
	4.3	 4.2.4 ンートキーSW 4.2.5 シートキーLED 4.2.6 SRAM クリア 4.2.7 再起動 4.2.8 シミュレータの終了 シミュレータの設定 4.3.1 設定方法 	

1章 InfoSOSA ビルダのインストール

章目次

1.1	InfoSOSA ビルダ動作環境	5
1.2	InfoSOSA ビルダのインストール	6

1.1 InfoSOSAビルダ動作環境

項目	内容
OS	Microsoft® Windows® XP 日本語版(32Bit 版) SP3 以降 Microsoft® Windows Vista® 日本語版(32Bit 版) Microsoft® Windows® 7 日本語版(32Bit 版/ 64bit 版)
フレームワーク	Microsoft® .NET Framework 4
プロセッサ(相当)	1GHz 以上
メモリ	512MB 以上 (推奨:Windows XP 1GB 以上、Windows Vista, Windows 7 2GB 以上)
ハードディスク	850MB 以上の空き (推奨:1GB 以上)
ディスプレイ	1024×768 ドット以上 True Color (32bit)を推奨
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
シリアルポート*	ダウンロード転送時に使用
イーサネットポート	ダウンロード転送時に使用

※ ご使用になる PC のシリアル(COM)ポートの出力信号レベルによって、通信エラーが発生することが あります。その場合は USB-シリアル変換ケーブルをご使用ください。

※ Windows 7 で使用される場合、画面の文字サイズは「小 - 100%」でご使用下さい。 画面の文字サイズは、 [スタート] - [コントロールパネル] - [ディスプレイ] で設定可能です。

※ 仮想環境下での動作は、動作保証外とさせて頂きます。

InfoSOSAビルダのインストール 1.2

⊘注意

インストールを行う PC のハードディスクに十分な空き容量(850MB 以上)があることを確認 してインストールを行ってください。

⊘ _{注意}

インストールは Administrator (管理者)権限で行って下さい。



インストールの開始

1. サンプルキットディスクを PC に挿入すると自動でガイドが起動します。 ガイドが起動したら [インストールする] をクリックします。

10	ノフトウェア
	InfoSOSAビルダ

InfoSOSA専用作画ソフトウェアです。作画と転送を行うことができます。 インストール方法は「<u>IS-Builder操作マニュアル</u>」をお読み下さい。

※ ガイドが自動起動しない場合は、サンプルキットディスク内の「index.html」をWeb ブラウザで開い て下さい。

インストールする

2. クリックすると、次のようなダイアログが表示されます。

[実行] ボタンをクリックしてインストールを行います。

setup.exe (427 KB) を実行または保存しますか?		×
🕡 この種類のファイルはコンピューターに問題を起こす可能性があります。	実行(R)	保存(S) < キャンセル(C)

※ お使いの PC 環境によっては、上記ダイアログで [実行] ボタンをクリックした後に、次のようなダイ アログが表示されることがあります。

表示された場合は [実行] ボタンをクリックしてインストールを行います。

8	setup.exe の発行元を検証できませんでした。このプログラムを実行しますか?	詳細情報(L)	実行(R)	ダウンロードの表示(V)	×

インストーラが起動しない場合は、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア」フォルダに ある「ビルダ」フォルダをローカルハードドライブにコピーし、「setup.exe」をダブルクリッ クしてインストーラを起動して下さい。

.NET Framework のインストール

1. お使いの PC に.NET Framework がインストールされていない場合、次のようなダイアロ グが表示されます。

[同意する] ボタンをクリックしてインストールを開始してください。

InfoSOSABuilder2.1.0.145 セットアップ	×
インストールするコンポーネント:	
Microsoft .NET Framework 4 Client Profile (x86 および x64)	
次のライセンス条項をお読みください。PageDown キーを使 スクロールしてください。 	って
マイクロソフト ソフトウェア追加ライセンス条項	
MICROSOFT WINDOWS オペレーティング システム用 MICROSOFT .NET FRAMEWORK 4	
MICROSOFT WINDOWS オペレーティング システム用MICROSOFT .NET FRAMEWORK 4 CLIENT PROFILE	
および関連する LANGUAGE PACK	
Microsoft Corporation またはお客様の所在地に応じては、その関連会社 (以	-
印刷用のライセンス条項 (MSLT) を表示する	
ライセンス条項に同意しますか?	
同意しない」を選ぶとインストールを中止します。インスト・ するには、この契約に同意してください。	ール
同意する(A) 同意しない(D)	

- ※ .NET Framework が既にインストールされている場合は「InfoSOSA Builder のインストール」から開始されます。
- ※ .NET Framework のインストールには「Windows インストーラ 3.1 以降」および「Internet Explorer 5.01 以降」が必要になります。
- ※.NET Frameworkのインストールはインターネットよりインストーラをダウンロードして実行されます。 InfoSOSA ビルダをインストールしようとする PC が、インターネットに接続されていない場合は [同意しない] ボタンをクリックしてインストールを中止した後、.NET Framework を別途インス トールし、再度インストールの実行して下さい。
- ※ .NET Framework 4 のインストーラは、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア ¥Microsoft .NET Framework¥Microsoft .NET Framework 4」フォルダに収録しています。

「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」「dotNetFx40LP_Full_x86ja.exe」の順番にインストール して下さい。

※ ご使用の環境によっては、.NET Framework 4 では InfoSOSA ビルダが動作しない場合があります。 その場合は以下を参考に.NET Framework 3.5 のインストールを行って下さい。

Windows XP の場合

.NET Framework 3.5 のインストーラは、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア ¥Microsoft .NET Framework¥Microsoft .NET Framework 3.5」フォルダに収録しています。 「dotnetfx35.exe」「dotnetfx35langpack_x86ja.exe」の順番にインストールして下さい。

Windows Vista / Windows 7の場合

コントロールパネルから [プログラムと機能] - [Windows の機能の有効化または無効化] をク リックし、[Microsoft .NET Framework *.*.*] チェック・ボックスにチェックを入れて下さい。

InfoSOSA Builder のインストール

インストールを開始すると以下のようなダイアログが表示されます。
 [次へ] ボタンをクリックします。

岃 InfoSOSABuilder2.1.0.145	X
InfoSOSABuilder2.1.0.145 セットアップ ウィザードへ こそ	ltò 🌄
インストーラーは InfoSOSABuilder21.0.145 をインストールするために必要が	は手順を示します。
この製品は、著作物に関する法律あよび国際条約により保護されています。 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害 注意いてきい。	この製品の全部 なりますのでご
キャンセル 〈 戻る(B)	`次へ(N) >

2. [同意する]を選択し、 [次へ] ボタンをクリックします。

岃 InfoSOSABuilder2.1.0.145	
ライセンス条項	
ライセンス条項をお読みください。以下の条件に同意される場合は「同意する らじなへ」をクリックしてください。その他の場合は「キャンセル」をクリックしてく]をクリックしてか ください。
使用許諾契約	
以下の使用許諾契約の内容を必ず最初にお読み下さい。 株式会社シーズウェア(以下「弊社」)は、お客様が本使 に含まれる全ての条件、およびこれに付随する、または特 諾条件(以下「本契約」)に同意した場合に限り、付属の アのが伊田権を將諾します。	用許諾契約 殊な使用許 ソフトウェ ▼
○ 同意しない (D) ● 同意する(A)	
キャンセル 〈 戻る(B)	次へ(N)>

3. 保存先の指定、ユーザの選択を行い [次へ] ボタンをクリックします。

岃 InfoSOSABuilder2.1.0.145	
インストール フォルダーの選択	
インストーラーは次のフォルダーへ InfoSOSABuilder2.1.0.145 をインスト	ールします。
このフォルダーにインストールするにコまじかへ」をクリックしてください。別ル トールするにコよ、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	のフォルダーにインス
フォルダー(E):	
C#Seedsware#InfoSOSABuilder2.1.0.145¥	参照(R)
	ディスク領域(D)
InfoSOSABuilder2.1.0.145 を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー	用にインストールします:
◎ すべてのユーザー(E)	
◎ ニのユーザーのみ(M)	
キャンセル 〈戻る(B)) 次へ(N) >

4. [次へ] ボタンをクリックします。

岃 InfoSOSABuilder2.1.0.145	
インストールの確認	
IntoSOSABuilder2.1.0.145 をインストールする準備ができました。 [次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル (く戻る(B)	(N)>

5. インストールが開始されます。

邊 InfoSOSABuilder2.1.0.145	
InfoSOSABuilder2.1.0.145 をインストールして います	5
InfoSOSABuilder2.1.0.145 をインストールしています。	
お待ちください	
キャンセル く戻る(B)) 次へ(N) >

6. インストール完了です。



インストール後、アイコンがデスクトップに表示されます。 アイコンをダブルクリックし、InfoSOSA ビルダを起動してください。

※ 説明画面に表示されるバージョン番号は「2.1.0.145」を例に説明しています。

2章 _{起動}

章目次

2.1	InfoSOSA ビルダの起動	11
2.2	既存のプロジェクトを開く	12

2.1 InfoSOSAビルダの起動

2.1.1 デスクトップ上からの起動方法

デスクトップ上にある PイコンをダブルクリックするとInfoSOSA ビルダが起動します。

2.1.2 **スタートメニューからの起動方法**

スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Seedsware] - [InfoSOSABuilder2.1.*.*] の順に選択します。 InfoSOSA ビルダが起動します。

※ *には、バージョン番号が表示されます。

2.2 既存のプロジェクトを開く

既存のプロジェクトファイルを選択し開きます。

方法

1. メニューバーから [ファイル] - [開く] の順に選択します。

7	ァイル(F) 編集(E) 表	示(V) システム設定(S)
2	新しいプロジェクトを作	成 Ctrl+Shift+P
1	開<	Ctrl+O
	上書き保存 名前を付けて保存 閉じる(C)	Ctrl+S
-	新しい画面を作成 最近使ったファイル 終了(X)	Ctrl+Shift+B

キーボードの「Ctrl」+「O」やツールバーの 嬞 でも行うことができます。

2. 表示するプロジェクト名を選択し、 [開く] ボタンをクリックします。

☆ プロジェクトファイルを選択してください。					
System	System (C:) 、 ユーザー 、 soft 、 マイドキュメント 、 Seedsware 、 Project ・ 4 Projectの検索 P Projectの検索 P				
整理 ▼ 新しいフォル	9-			8==	• 🔟 🔞
숡 お気に入り 🛛 着	名前	更新日時	種類	サイズ	^
🚺 ダウンロード	parkingdemo_IS701-3.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	205 KB	
📃 デスクトップ	parkingdemo_IS701-3-101.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	114 KB	
🧐 最近表示した場所	parkingdemo_IS701-4.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	174 KB	
	parkingdemo_15702-3-ML.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	205 KB	
	parkingdemo_IS711-4.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	174 KB	E
21/29	parkingdemo_IS712-4-ML.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	174 KB	
■ ドキュメント =	parkingdemo_IS901-4.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	174 KB	
🔤 ピクチャ	parkingdemo_IS901-5.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	205 KB	
😸 ビデオ	parkingdemo_IS901-5-101.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
👌 ミュージック	parkingdemo_IS901-5-101-ML.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
	parkingdemo_IS901-7.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
- طرحه محمار الم	parkingdemo_IS901-7-ML.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
	parkingdemo_IS901-8.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
	parkingdemo_IS901-8-101.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	
📭 ネットワーク 💡	parkingdemo_IS901-8-101-ML.ipp	2011/06/25 15:12	IPP ファイル	308 KB	-
ファイル名(N): プロジェクトファイル(*.ipp) ・					
				開<(0) ▼	キャンセル

- ※ 前回使用した場所が表示されます。 インストール直後はマイドキュメントの「Seedsware¥Project」フォルダになります。
- ※ InfoSOSA ビルダ Ver. 2.1 では、InfoSOSA ビルダ Ver. 1.7 以降のバージョンで作成したプロジェクトを開くことが可能です。

但し、Ver2.1 に合わせて一部修正が必要な場合があります。

- ※ InfoSOSA ビルダ Ver. 2.1 で保存したプロジェクトは、旧バージョンの InfoSOSA ビルダでは、 使用することができません。
- ※ 旧バージョンのプロジェクトを開いた場合、同じフォルダに以下のファイル名でバックアップが自動的に行われます。

くプロジェクト名〉.bak_</旧バージョン番号〉.ipp

例えば、バージョン 2.0.4.139 で作成した test.ipp というプロジェクトを開いた場合、以下のファイル名で同じフォルダにバックアップされています。

test.bak_2.0.4.139.ipp



3. 選択したプロジェクトが「画面エディタ」の作画エリアに表示されます。

3章 ダウンロード

章目次

3.1	ダウンロードとは	15
3.2	シリアル/LAN ダウンロード	16
3.3	SD カードダウンロード	19

3.1 ダウンロードとは

ダウンロードとは、ビルダで作成したプロジェクトを InfoSOSA に転送することを指します。

ダウンロードには、InfoSOSA本体とシリアル(またはLAN)ケーブルでPCと接続して行う方法と、あらかじめPCでSDメモリカードにデータを作成し、そのSDメモリカードとInfoSOSA本体を接続して行う方法があります。

SD カードダウンロードは、あらかじめデータを作成しておけば、データ更新時に PC は不要になります。

ダウンロードはメニューバーの「ダウンロード」から行ないます。 シリアル(または LAN)ダウンロードは「通信設定」、「ダウンロード」を使用します。 SD カードダウンロードは「データ作成」を使用します。

※ LAN インタフェース非搭載の機種は LAN ケーブルでのダウンロードを行えません。

※ SD カードインタフェース非搭載の機種は SD メモリカードでのダウンロードを行えません。

※ タッチパネル非搭載の機種は SD メモリカードでのダウンロードを行えません。



3.2 シリアル/LANダウンロード

シリアル(またはLAN)ケーブルを使用してダウンロードを行う場合は、InfoSOSAとPCを転送用のケーブルで接続する必要があります。

次の手順で行ないます。

- 1. ビルダで PC の通信設定を行います。詳細は 3.2.1 通信設定を参照下さい。
- 2. PC と InfoSOSA を転送用のケーブルで接続します。
- 3. InfoSOSA の電源を ON します。
- **4.** ビルダからダウンロードを行います。 詳細は <u>3.2.2 シリアル/LAN でのダウンロード</u>を参照 下さい。

3.2.1 通信設定

InfoSOSA ヘダウンロードを行う PC の通信設定を行ないます。

通信設定方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [通信設定] の順に選択します。

ダウンロード(D)	動作ショ
通信設定	
データ作成	
ダウンロード	

「通信設定(PC側)ダイアログ」が表示されます。
 各項目を設定後[選択]ボタンをクリックします。

通信設定ダイアログ	
ポート:	• 1
通信速度:	115200 - 2
パリティ:	tal 🔹 🕄
相手先IPアドレス:	192 . 168 . 0 . 130 4
	選択 キャンセル

No	項目	内容
1)	ポート	ダウンロードを行う PC 側のポートを設定します。 「COM ポート」または「LAN」を選択します。 ※有効な「COM ポート」のみが表示されます。
2	通信速度	ポート設定が「COM ポート」の場合、通信速度を設定します。 InfoSOSA に設定されている「通信速度」を選択します。(「通信設定(タ ーゲット)ダイアログ」で設定された通信速度) ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「115200」を指定して下 さい。

No	項目	内容
3	パリティ	ポート設定が「COM ポート」の場合、通信設定をします。(パリティ) InfoSOSA に設定されている「パリティ」を選択します。(「通信設定(タ ーゲット)ダイアログ」で設定されたパリティ) ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「なし」を指定して下さい。
4	相手先 IP アドレス	ポート設定が「LAN」の場合、InfoSOSA の IP アドレスを設定します。 (「通信設定(ターゲット)ダイアログ」で設定された InfoSOSA の IP アドレス) ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「192.168.0.130」を指 定して下さい。

3.2.2 シリアル/LAN でのダウンロード

シリアル(または LAN)ケーブルを使用してダウンロードを行ないます。 ダウンロードを開始する前に、3.2.1 通信設定を行い InfoSOSA と PC を接続してください。 InfoSOSA の電源が ON になっていることを確認の上、下記の操作を行ってください。

ダウンロード方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [ダウンロード] の順に選択します。



「ダウンロードダイアログ」が表示されます。
 [ダウンロード]ボタンをクリックします。

ダウンロードダイアログ	1
通信設定	
COM5 115200.なし	
ダウンロードデータ #855-4-	
1は4里-石・ フーザーバージョン:	
全データサイズ: 0 バイト	(2)
進捗状況	
<i>ט</i> מ	
	3
ダウンロード 閉じる	

No	項目	内容
1	通信設定	「通信設定ダイアログ」で行なった設定が表示されます。 [設定] ボタンをクリックすると「通信設定ダイアログ」が表示されま す。こちらからでも通信設定を行うことができます。
2	ダウンロードデータ	ダウンロードを行うデータが表示されます。
3	ログ	ダウンロード状況と結果を表示します。

3. ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ログに「転送完了」というメッセージが表示されます。 ダウンロードが完了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてダウンロードを終了します。

ダウンロードダイアログ	
通信設定	
COM18 115200,なし	設定
ダウンロードデータ	
機種名: IS711-4S-2	
ユーザーバージョン: 1.0.0	
全データサイズ:	2,564,708 / 14 ト
進捗状況	
טֿט	
データ準備中	
接続中	
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
転送完了	
1	4
(

- ※ コンパイルがされていない場合は自動でコンパイルが実行されます。
- ※ ダウンロードが正常に完了しなかった、または正常に中止できなかった場合、次回起動時はダウ ンロードモードで起動します。

ダウンロードモードで起動した場合は、InfoSOSA 本体の通信設定はデフォルト値(通信速度: 115200bps、パリティ:なし)になります。

PC 側の通信設定をデフォルト値に設定し、再度ダウンロードを行ってください。

3.3 SDカードダウンロード

SD メモリカードを使用してダウンロードを行う場合は、SD カード基板(オプション)を使用して SD メモリカードを接続する必要があります。

※ SDメモリカードの接続方法は、取扱説明書を参照下さい。

次の手順で行ないます。

- 1. ダウンロード用のデータを作成します。詳細は 3.3.1 データ作成を参照下さい。
- 2. InfoSOSA と SD メモリカードを接続してダウンロードを行ないます。詳細は <u>3.3.2 SD</u> メモリカードでのダウンロード</u>を参照下さい。

3.3.1 データ作成

ダウンロード用のデータを作成します。 PC に SD メモリカードを接続してから行なって下さい。

データ作成方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [データ作成] の順に選択します。



「データ作成ダイアログ」が表示されます。
 [参照] ボタンをクリックします。

データ作成ダイアログ	Ĵ			
ダウンロードデータ 桜種名: ユーザーバージョン: 全データサイズ:	IS901-4S 1.0.0	0 /አኅኑ		
保存先			Г' ЕБХ	参照 閉じる

- 保存場所を指定するウィンドウが開きます。
 データの保存先に SD メモリカードのドライブ (ルートフォルダ)を指定して下さい。
- 4. 「データ作成ダイアログ」の [作成] ボタンをクリックします。

				7	『一タ作成ダイアロク
				IS901-4S	- ダウンロードデータ - 機種名:
			0 バイト	1.0.0	ユーザーバージョン: 全データサイズ:
泰昭	泰昭				保存先
3	日本 (19) (13) (13) (13) (13) (13) (13) (13) (13	作成			L
参照	参照 	作成			保存先

- 5. 未保存の場合は、確認メッセージが表示されます。 [はい]を選択して下さい。
- 6. SD メモリカードに以下のファイルが作成されます。

InfoSOSA ビルダ
データ作成完了しました。
ОК

No	ファイル名 説明	
1	<i>[プロジェクト名]</i> .isp	SD カードダウンロード用のプロジェクトデータです。
2	isupdated.tgz	SD カードダウンロード用のアプリケーションファイル です。

※ ファイル名の変更は行わないで下さい。

【注意】

SD メモリカードのルートフォルダに、プロジェクトデータ(拡張子が isp のファイル)が複数 あった場合はダウンロードを行うことができません。あらかじめ、移動もしくは削除を行ない 1つのみにして下さい。

3.3.2 SD メモリカードでのダウンロード

SD メモリカードを使用してダウンロードを行ないます。 ダウンロードを開始する前に、<u>3.3.1 データ作成</u>を行なって下さい。

ダウンロード方法

- 1. InfoSOSA の電源を OFF にします。
- 2. InfoSOSA に SD メモリカードを接続します。
- 3. InfoSOSA の電源を ON にします。
- 4. InfoSOSA に以下の画面が表示されます。 [はい]をタッチして下さい。



ダウンロードが始まり、以下の画面が表示されます。
 更新には数分かかる場合があります。
 更新中は、InfoSOSAの電源をOFF にしたり、SD メモリカードを抜いたりしないで下さい。



6. ダウンロードが完了すると、以下の画面が表示されます。 SD メモリカードを抜いて、[確認]をタッチして下さい。



7. 再起動が行われ、更新後の画面が表示されます。

【注意】

手順6で SD メモリカードを抜いていない場合は、再度更新確認画面(手順4)が表示されます。その場合は、SD メモリカードを抜いて、[いいえ]をタッチして下さい。

※ 正常に完了しない場合は、以下をご確認下さい。

表示	原因	対処
SDカードにプロジェクト(*.isp)が 複数見つかりました。 SDカードにあるプロジェクトを 1つにしてください。 確認	SD メモリカードのルートフ ォルダにプロジェクトデータ (拡張子が isp のファイル)が 複数存在する	プロジェクトデータ(拡張 子が isp のファイル)をル ートフォルダ以外に移動、 もしくは削除して1つだけ にして下さい
SDカードにファイルが見つかりませんでした。 確認	SD メモリカードのルートフ ォルダにプロジェクトデータ (拡張子が isp のファイル)が 存在しない	プロジェクトデータ(拡張 子が isp のファイル)をル ートフォルダに移動して下 さい。 ※検索はルートフォルダの み行ないます。
更新画面が表示されずに、書き換え前のプロ ジェクトが表示される	SD メモリカードのルートフ ォルダにアプリケーションフ ァイル (isupdated.tgz) が存 在しない SD メモリカードが正しく接 続されていない	再度データ作成を行ない、 SD メモリカードのルート フォルダにアプリケーショ ンファイル (isupdated.tgz)を配置 して下さい InfoSOSA 本体の取扱説 明書を参考に正しく接続し て下さい
機種が異なるため、更新できませんでした。 プロジェクトの機種設定を再度ご確認ください。 確認	プロジェクトの機種設定と InfoSOSA 本体の機種が異な る	プロジェクトの機種設定を InfoSOSA 本体型式と対 応したものに設定し、再度 データ作成を行なって下さい。 機種名の対応は、別紙ビル ダ操作マニュアルをご確認 下さい。
更新に失敗しました。 ▼エラー原因一覧 ・未対応データ ・データ破損 確認	・SD メモリカードが壊れてい る ・データが破損している ・その他のエラー	別の SD メモリカードに再 度データ作成を行なって下 さい。 改善されない場合は、お手 数をお掛けしますが、お問 い合わせをお願い致しま す。

4章 シミュレーション

章目次

4.1	シミュレータ	25
4.2	シミュレータの操作方法	27
4.3	シミュレータの設定	32

4.1 シミュレータ

InfoSOSAにダウンロードを行わずにPC上での動作シミュレーションを行うことができます。



No	項目	内容	
1	IsSimulator ディスプレイ	作成したプロジェクトの画面が表示されます。 マウスのクリックでタッチ操作ができます	
2	SIO1 ポートログ表示	SIO1 ポートの送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。	
3	SIO2 ポートログ表示	SIO2 ポートの送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。	
4	LAN ログ表示	LAN の送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。	
5	シートキー表示	シートキーSW 画面の ON/OFF を行ないます。	
6	ランプ表示	シートキーLED 画面の ON/OFF を行ないます。	
\bigcirc	SRAM クリア	SRAMを初期化します。※別途再起動が必要です。	
8	再起動	シミュレータを再起動します。	
9	終了	シミュレータを終了します。	

4.1.2 シミュレータの起動

1. メニューバーから [動作シミュレーション] - [シミュレーションの開始] の順に選択しま す。

動作シミュレーション(T)	へルプ(H)
シミュレーションの開始 F5	
シミュレーションの設定	定

キーボードの「F5 キー」でも行うことができます。

2. プロジェクトが保存されていない場合は下図のダイアログが表示されます。

[はい] ボタンをクリックしてプロジェクトを保存します。 確認ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

InfoSOSA ビルダ	X
現在開かれているこ	プロジェクトを保存しますか?
	(はい(Y) いいえ(N)

InfoSOSA ビルダ
プロジェクトを保存しました。
ок

3. シミュレータが起動します。

4.2 シミュレータの操作方法

シミュレータでは画面の表示、タッチパネル操作、シートキーSW、シートキーLED の確認を 行うことができます。

4.2.1 **表示**

シミュレータを起動すると「IsSimulator ディスプレイ」に作成した画面が表示されます。 操作を行うと設定した通りに画面が変化します。

ランプの点灯や画面遷移、文字表示、数字表示などの確認ができます。



4.2.2 タッチパネル操作

画面上をマウスでクリックするとタッチパネル操作を行うことができます。 配置したボタンなどをクリックすると設定したアクションが実行されます。 ボタン、テンキーなどの確認ができます。



4.2.3 **ログ表示**

各ポートのログ表示ボタンをクリックすると「送受信ログ」が表示されます。 PC とマイコンを接続することで通信電文を確認することができます。

IsSimulator
SIO1ポート ログ表示
SIO2ボート ログ表示
LAN Dグ表示
シートキー表示
ランプ表示
SRAMクリア
再起動
終了

※使用するには「シミュレーションの設定」で各ポートを有効にする必要があります。

SIO1ポート 送受信ログ	X
送信口グ	①表示 ◎ ASCII ◎ BINARY
データ(ASCII) (2)	^
<pre><stx>00e2000001DPA04,BAS00001.BTN00001.PRESS{CR}090F<etx></etx></stx></pre>	
<pre><stx>00e3000001DPA04,BAS00001.BTN00001.PRESS{CR}0910<etx></etx></stx></pre>	
<pre><stx>00e4000001DPA04,BAS00001.BTN00001.PRESS{CR}0911<etx></etx></stx></pre>	
<pre><stx>00e5000001DPA04,BAS00001.BTN00002.PRESS{CR}0913<etx></etx></stx></pre>	
<stx>00e6000001DPA04,BAS00001.BTN00003.PRESS{CR}0915<etx></etx></stx>	=
<stx>00e7000001DPA04, BAS00001.BTN00004.PRESS{CR}0917<etx></etx></stx>	
<stx>00e8000001DPA04,BAS00001.BTN00003.PRESS{CR}0917<etx></etx></stx>	-
 受信ログ	
データ(ASCII) (3)	
<pre><stx>00C0000001FPA01,BAS00001.LMP00001.VALUE,1{CR}093C<etx> <stx>00C0000001FPA01,BAS00001.LMP00002.VALUE,1{CR}093D<etx> <stx>00C0000001FPA01,BAS00001.LMP00003.VALUE,1{CR}093E<etx></etx></stx></etx></stx></etx></stx></pre>	
④ ファイル(保存 ◎ ASCII ◎ BINARY ◎	5 BINARY(TEXT) 保存

No	項目	内容
1	表示	送受信ログの表示方法を設定します。
2	送信ログ	シミュレータからの送信電文を表示します。
3	受信ログ	上位からの受信電文を表示します。
4	ファイル保存	保存形式を設定します。 ※BINARY にチェックと入れて保存した場合 .bin で保存されます。
5	保存	ファイル保存で設定された形式で保存します。

4.2.4 **シートキーSW**

[シートキー表示] ボタンをクリックすると「シートキー画面」が表示されます。 シートキーSW の動作確認ができます。

シートキーの番号をマウスでクリックすると設定したアクションが実行されます。

[シートキー表示] ボタンをもう一度クリックすると「シートキー画面」が閉じます。



※シートキーSWは、デフォルトでは無効となっています。

使用するには「シミュレーションの設定」で有効にする必要があります。

4.2.5 **シートキーLED**

[ランプ表示]ボタンをクリックすると「LED 画面」が表示されます。 シートキーLED の動作確認ができます。設定に合わせて LED が点灯、消灯します。

[ランプ表示] ボタンをもう一度クリックすると「LED 画面」が閉じます。



※シートキーSWは、デフォルトでは無効となっています。

使用するには「シミュレーションの設定」で有効にする必要があります。

4.2.6 SRAM クリア

[SRAM クリア] ボタンをクリック後、「再起動」を行うと SRAM がクリアされ、グローバルメモリは初期値で読み込まれます。

IsSimulator
SIO 1ポート ログ表示
SIO2ポート ログ表示
LAN ログ表示
シートキー表示
ランプ表示
SRAMクリア
再起動
終了

4.2.7 **再起動**

[再起動]ボタンをクリックすると、「IsSimulator ディスプレイ画面」が再起動します。 動作確認を初期状態からやり直したい時などに使用します。

🚡 IsSimulator	۱
SIO 1ポート ログ表示	
SIO2ポート ログ表示	
LAN ログ表示	
シートキー表示	
ランプ表示	
SRAMウリア	
再起動	
終了	
	ļ

4.2.8 シミュレータの終了

[終了] ボタンをクリックすると、シミュレータが終了します。

🔚 IsSimulator
SIO1ポート ログ表示
SIO2ポート ログ表示
LAN ログ表示
シートキー表示
ランプ表示
SRAMクリア
再起動
終了

4.3 シミュレータの設定

4.3.1 **設定方法**

1. メニューバーから [動作シミュレーション] - [シミュレーションの設定] の順に選択します。



2. 下記の設定ダイアログが表示します。

必要項目にチェックし [設定の保存] ボタンをクリックします。

1	 IsSimulatorSettingTool 基本設定 データフォルダ OXInfoSOSABuilder¥InfoSOSABuilder2.1.0.145¥ 画面タッチ設定 	
2	 ✓ 画面タッチを有効にする LAN設定 LAN支有効にする LAN支付え名称 Realtek PCIe GBE Family Controller SIO1設定 ✓ SIO1設定 ✓ SIO1を有効にする SIO1ポート ✓ SIO2ポート 	 ▼シートキー入力を有効にする ▼BSDメモリカード設定 SDメモリカードを有効にする SDメモリカードでも有効にする SDメモリカードであり、する
5	Buzzer設定 I Buzzerを有効にする	 ③ OFメモリカード設定 □ CFメモリカードを有効にする CFメモリカードフォルダ 参照 設定の保存 キャンセル

No	項目	内容
1	画面タッチ設定	チェックを入れるとシミュレータでタッチパネル (マウスで操作) 確認が行えるようになります。
2	LAN 設定	チェックを入れるとPCのLANで上位通信が行えるようになりま す。使用するLAN デバイスの選択ができます。上位機器とPC間 で通信のシミュレーションを行う用途にお使いいただけます。
3	SIO1 設定	チェックを入れると PC のシリアルポートで SIO1 の上位通信が 行えるようになります。使用する COM ポートを選択してくださ い。上位機器と PC 間で通信のシミュレーションを行う用途にお 使いいただけます。
4	SIO2 設定	チェックを入れると PC のシリアルポートで SIO2 の上位通信が 行えるようになります。使用する COM ポートを選択してくださ い。上位機器と PC 間で通信のシミュレーションを行う用途にお 使いいただけます。
5	Buzzer 設定	チェックを入れると、InfoSOSA のブザー音が PC のスピーカー から鳴るようになります。
6	シートキー入力設定	チェックを入れると [シートキー表示] ボタンが有効になります。
\bigcirc	H/W ランプ設定	チェックを入れると [ランプ表示] ボタンが有効になります。
8	SD メモリカード設定	SD メモリカードのアクションをシミュレーションする場合、チェ ックを入れて下さい。指定のフォルダを SD メモリカードとみな してファイル書き込みが行われるようになります ※SD メモリカードに対するシミュレーションを行う場合は、必ず 設定して下さい。

4章 シミュレーション

No	項目	内容
9	CF メモリカード設定	使用できません



本書に関するお問い合わせは、下記へお願い致します。

<u>お電話でのお問い合わせ</u> 留 0725-51-1110

メールでのお問い合わせ info@seedsware.co.jp

<u>よくあるご質問と回答集</u>



www.seedsware.co.jp/support/faq/

2014 年 8 月 初版 発行所 株式会社シーズウェア 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ 3-7-16 TEL:0725-51-1110 (代 FAX:0725-51-1103 URL:<u>http://www.seedsware.co.jp/</u>